



三条北ロータリークラブ週報



No. 25

R I : ホルガー・クナーク会長「ロータリーは機会の扉を開く」
 第 2560 地区: 佐藤真ガバナー「ロータリーで良いことをしよう」
 三条北 RC: 石黒隆夫会長「親 睦 を 深 め よ う」

会長: 石黒隆夫 幹事: 本田芳久 S A A: 中原尚彦

●例会日: 火曜日 12:30~13:30 ●例会場: 三条ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

- ◆本日の行事:「職業奉仕月間」
- ◆本日の出席: 59名中32名
- ◆先々回の出席率: 59名中51名 86.44%
(前年同期 81.67%)
- ◆先週のメイクアップ(敬称略): ありませんでした

* 本日の配布書類等

- ・ガバナー月信1月号(閲覧)
- ・週報 No.1612
- ・下半期予定表
- ・2021-2022 年度組織図
- ・新年会のご案内

会長挨拶: 石黒隆夫会長



皆さんこんにちは。この3連休は GoTo もなく緊急事態宣言も発令され絶好の雪かき連休だったのではないのでしょうか。私も健康のためにも筋トレや有酸素運動になると思ってやりましたが、結果は疲労感と腰痛だけが残りました。町中の除雪も行われ路面は

きれいになっても道幅がとても狭くなっていますので対向車がある時は注意が必要です。

渡辺はま子さんが1月1日に亡くなりました。わたしは、直接お話した事はなかったですが、30周年記念式典の時には佐藤ひらりさんと一緒に歌っていた渡辺はま子さんがとても輝いて見えたことを思い

出します。渡辺はま子さんを偲んでどなたか思い出話などしていただけないでしょうか。亡くなる数日前にロータリーの友をお届けに会社へいきましたが、入院中ということも全く分かりませんでした。謹んでご冥福をお祈り致します。

今週の北ロータリアンの知らない世界は、大野さんです。大野さんといえば奥さん大好き、魚大好き、脚が痛い私のイメージです。奥さんは残念ながらお亡くなりになりましたが魚はだいぶ殺してしまったようです、金額にしたら家一軒分ですか。膝の手術で今はお元気で先日の五十嵐川クリーン作戦にも元気に歩いておられ特に最近はお若くなられたようです。彼女でもできたのでしょうか。

今日の卓話は、職業奉仕委員長の吉田さんです。先日も三条新聞に載っておられ忙しい中だったと思いますがよろしくお願い致します。

幹事報告: 本田芳久幹事



- ・渡辺はま子会員が1月1日夜ご逝去されました。葬儀告別式は家族葬にて既に執り行われました。
ご冥福をお祈りいたします。

- ・佐藤ガバナーより、
「豪雪お見舞いとお祝い」「クラブ運営状況報告のお願い」
- ・米山記念奨学委員長より、「第2回米山記念奨学委員長セミナーについて」
開催方法: DVD 視聴による研修



2018年6月 会長幹事慰労会 二次会にて



佐藤ガバナーより「COVID-19 感染防止啓発のお願い」

1. 例会を含め、人と会う場合にはマスクを着用し、鼻も覆うようにしてください。
2. 手指の消毒（70%以上アルコールや次亜塩素酸希釈溶液）を励行してください。
3. 毎日の検温を習慣づけるようにしてください。
4. 三密（密閉、密接、密集）を回避し、ソーシャルディスタンスの確保や室内の換気を行ってください。
5. 不要不急の外出や会合、会食を控え、やむを得ない場合は極力少人数かつ短時間でお願いします。
6. 当面の間、ガバナー事務所にお越しになる際も、30分以上の滞在はご遠慮いただき、長時間の打合せもご遠慮いただくようご配慮願います。

委員会報告：

親睦活動委員会 梨本文也 委員長



新年会のご案内です。

本来であれば、楽しい企画をもとに皆さんと親睦を深める会を開催したい所でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、宴の席を設けず、例会セレモニーの後、お料理をお持ち帰りいただく形で開催させていただきます。

日時：1月26日(火)18：30～19：00 会場：日本料理 魚長

皆様方、多数のご参加をよろしくお願いいたします。

雑誌委員会 齋藤孝之輔 委員長



ロータリーの友1月号をご紹介します。今回もコロナ禍の中での活動の記事が多数載っています。今日はそれ以外の所をご紹介します。

横書き p.7～17「私のプライド、その仕事」では、様々な職業の方が紹介されており、新潟県は笹団子の会社が載っています。いろんな職業があると思う所と、それら職業の繋がりで我々が成り立っているということを感じとられます。p.20には「東京ロータリー100周年」の記事が載っています。100周年を迎えたことも凄いですが、こんな時期に100周年の祝賀会をできた事も凄いです。p.29のポールハリスのマンガもいよいよ佳境に入

て来ました。相互扶助という考え方から、広く奉仕という概念に変わってきたということが書かれています。こうしてロータリーの広がり生まれたことを感じさせられます。縦書き p.4～8にはくず餅の船橋屋さんが書かれています。入社当時の苦勞を乗り越えて良い状態の会社にもっていかれた所など、自分に置き換えながら考えさせられました。是非、今月も楽しみにご覧ください。

ロータリー財団 BOX

12日現在累計 151,000円

中原 尚彦 君 吉田委員長、本日の卓話よろしくお願いします。
星野 義男 君 職業奉仕委員長吉田文彦さんの卓話に感謝して!!
早川 瀧雄 君 吉田職業奉仕委員長、卓話よろしくお願いします。



米山奨学 BOX

12日現在累計 177,000円

吉田 文彦 君 大雪、みなさん御苦勞されたことと思います。
連日の除雪で体がギシギシ音を立ててます。
湊岡 茂 君 おめでとうございませう。本年も宜しく頼みます。
齋藤孝之輔君 協力します。
落合 益夫 君 BOXに協力。
武田 恒夫 君 明けましておめでとうございませう。今年も米山宜しく頼みます。





- 石黒 隆夫 君 吉田さん、本日はよろしくお願い致します。
三条新聞見ました。また、忙しくなって給料上がるんでしょうね。
- 本田 芳久 君 雪のけで腰を痛めてしまいました。皆さんお気をつけて下さい。BOXに協力。
- 中原 尚彦 君 渡辺はま子さんのご冥福をお祈りいたします。
- 吉田 文彦 君 今回の大雪の苦労話は卓話の始めに少しお話します。本日の職業奉仕月間の行事は、2560地区委員長のDVDの視聴がメインですので居眠り歓迎です。
- 外山 晴一 君 大雪で大変です。三条の除雪は悪いです。
来週、皆で市長に文句を言いましょう(陳情しましょう)。
- 羽賀 一真 君 吉田文彦委員長、本日は地区委員長の代読ですが、よろしくお願い致します。
JA(農協)のご活躍をいつも三条新聞で見えております!
- 森 宏 君 今朝、滑って転んで頭を打った方が複数来ました。皆様もお気をつけ下さい。
- 石川 友意 君 連日の除雪作業で手首が腱鞘炎になってしまいました。年です。
- 武田 恒夫 君 明けましておめでとうございます。
何ですか?この雪は?コロナに負けないくらいきついですね。
- 今井 克義 君 先回の後期の第一例会、都合あり欠席しました。
改めて皆さま方、今年もどうぞ宜しくお願いいたします。
- 佐藤 義英 君 吉田さんの卓話に期待します。BOXに協力!!
- 齋藤孝之輔君 吉田文彦さんの卓話、楽しみです。
- 石川 勝行 君 吉田委員長、本日はよろしくお願い申し上げます。
- 金子太一郎君 吉田委員長、本日よりよろしくお願い致します。
- 丸山 勝 君 吉田会員、卓話宜しくお願いします。雪で大変です。ああ〜。
- 石丸 進 君 おめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
- 田中耕太郎君 BOXに。
- 渡辺 徹 君 協力します。
- 外山 裕一 君 BOXに協力。
- 湊岡 茂 君 渡辺はま子さんの御冥福をお祈りします。
- 石川 一昭 君 本日「シトラスリボン」を紹介します。新型コロナに感染された方や、医療従事者・エッセンシャルワーカーを応援する市民運動です。バッチ1枚につき100円寄付されます。
本日わずかですが、バッチを持参しました。希望者にお渡しします。

本日の行事:「職業奉仕月間」

職業奉仕委員会 吉田 文彦 委員長



昨年コロナが少し収まっていた頃、地区へ職業奉仕月間卓話にお越しいただけるのではないかと期待してお願いしましたが、感染症拡大防止を考慮して、地区研修協議会DVDの放映と篠沢委員長の資料で代用して欲しいとのご返答でした。では、DVDのご視聴いただきます。よろしくお願い致します。

「忘れられた部門:職業奉仕」

2020-2021年 地区職業奉仕委員長 豊栄RC 篠沢 正



皆さん、こんにちは。私がロータリーに入会した頃の頃、チャーターメンバーだったある先輩に「ロータリーもライオンズも同じようなことをやっているんだから、一緒になったら良いんじゃないでしょうか」と話したことがあったんです。

そしたら、その先輩から「ライオンズにはロータリーと違って職業奉仕の概念がないよ。」ロータリーの標語や四つのテストは、ロータリアンの日常の行動規範を言っているんではではなくて、あれはみんな“事業経営は

どうあるべきか”と言う職業奉仕に関する言葉で、言ってみれば【事業経営のポイント】のようなものだよ、と教えられました。

今後の職業奉仕委員会活動の参考に「前年度全クラブの職業奉仕委員長」へ協力をお願いして、過去も含めた「職業奉仕活動事例」のアンケートに回答して頂きました。



返答率はおよそ半分ほどでしたが、概ね次の【3つの事例】に集約できました。

- ① 例会にて4つのテスト唱和→(儲けた者勝ちでは、事業の永続発展は望めない)
- ② 職業を通しての会員卓話→(経営について、いろんな人の考え方を聞かせて頂く)
- ③ 職場体験・職場見学→(我が経営の参考になる箇所を勉強させて頂く)

初代ガバナー米山梅吉の次の、2代目井坂孝パストガバナーは「ロータリアンはいたずらに慈善事業に浮き身をやつすことなかれ」と月信で提唱していました。さらに昭和30年代初め頃、神戸RCの直木太一郎Pガバナーも「先ず職業奉仕に徹して、自分の企業を強靱な企業に作り上げ、社員を物心共に満たしてやった上で、しかる後に余裕があれば社会奉仕・国際奉仕に手を出すべきである」と月信で提唱しました。

日本のロータリーは導入初期から職業奉仕を大切にしてきましたが、3年に一回開催されるRIの規定審議会で、「最も多く奉仕する者、最も多く報われる」と言う標語は「見返りを念頭ににおいた奉仕で、ピューリタンの思想に合わない」と言う理由によってヨーロッパから毎回廃止提案が出されたと言います。

そのせいか、この標語は最近見なくなりました。

YKK精神「善の循環」では《他人の利益を図らずして、自らの繁栄はない。》とあります。

新潟ダイハツモータース創業者の塩田清会長は、ダイハツ車を扱ってくれている修理工場へ「満足した顧客は最善のセールスマン」と色紙に書いて配っています。

(同じ経営理念です。)つまり、お客様の満足が我が社の繁栄です。

また、RIの職業奉仕委員会が具体的な活動を伴わず、さらにロータリーの財政に寄与するものでもありませんから「事業組織化したロータリー本山からすれば、職業奉仕委員会は無用の長物」で歴史的にもRIの職業奉仕委員会は1948(S23)年に廃止され、長い凍結期間において39年後の1987(S62)年に再開された経緯があります。

RI本山の方針がそうになると、末寺の住職にあたる地区のガバナーも「職業奉仕」などと言う固苦しい説法をするよりも、もっぱら信者の獲得や寄進の勧奨に精を出すようになり、今やどこのガバナー月信にも「職業奉仕」などと言う固苦しい説法は見当たらなくなりました。

しかし、ロータリーは皆さんもご存知のように、現在の【クラブ奉仕】と【職業奉仕】の二つを目的としてスタートした「仲間の集まり」で、その後遅れて「社会奉

仕活動」が加わった団体です。

新入会員に対して、一部のクラブを除いては職業奉仕に関する具体的な説明がほとんど無かったために、「標語」も「四つのテスト」も空念仏になって、今のロータリアンの中には「職業奉仕と社会奉仕の違いはなんですか?」と言うような人も居ます。

ロータリーの「職業奉仕のテーマ」は、「事業経営はどうあるべきか」であり、最初に取り組むべきは、神戸RCの直木太一郎Pガバナーが月信で提唱したように【自分の企業を強靱な企業体質に作り上げ、社員を物心共に満たしてやるための経営戦略・経営哲学】だと私は思います。

「社会奉仕活動の受益者」はロータリアン以外の人たちで、「職業奉仕活動の受益者」はロータリアンだと言います。

どのような委員会活動を行ったなら、ロータリアンを「職業奉仕活動の受益者」にすることができるのでしょうか。

多くの日本のロータリアンが「職業奉仕について」各々の解釈を語っています。

シェルドン派・・・「ビジネスの基本理念を軸とするシェルドンの思想」を重視する人達で代表的論客は第2680地区PG眼科医の田中毅氏です。

倫理派・・・職業奉仕を職業倫理と捉える。代表的論客は第2680地区PG弁護士の深川順一氏で、深川PGは「ロータリーは職業人の倫理運動である」と主張しています。

天職派・・・運動の原点を、職業は天からの使命と言うプロテスタンテズムの精神構造とし、「世のため人のために働く」と言う日本人の伝統的職業感とも一致すると考える。代表的論客は第3580地区PG企業経営者の故佐藤千壽氏です。

格言に「古の教えを聞いても唱えても、我が行いにせざば甲斐無し」と言います。

「職業奉仕の理論や理念」を理解しても各々の企業で活用できなければ、知識は大事ですが「量の上の水練」でしかありません。

経営者には先ず、「自分の企業を強靱な企業に作り上げ、社員を物心両面で満たしてやる責任」があります。

ロータリーでは、多くの経営者の《自分にない発想と情報》に出会えるはずです。

領地返上・破産寸前の困窮した藩の財政を再生して、江戸時代屈指の名君として知られているお隣米沢藩・9代藩主上杉鷹山公の言葉に「働き一両、考え五両、知恵借り十両」とあります。

職業奉仕委員会が実施する会員や非会員企業への【企業訪問】も、【物見遊山】が目的ではなく【我が経営

の参考にできる所は無いだろうか】を学ばせて頂くことでしょ。

皆さん、「商売は十人十色」と言いますから、いろんな人の考え方からヒントを頂いて、
自分の企業を強靱な企業に作り上げ、社員を物心両面で満たしてやりませんか。

★★★★

新聞やテレビで報道されましたが、昨年(2019)9月、兵庫県宝塚市が「就職氷河期世代」に限定して、社会人経験者を正規職員として3名募集。全国から1,935名(545倍)が応募。試験会場を増やし、最終的に甲乙付け難い優秀な人材だったので【4名採用】しました。

社会人経験者(民間企業等の職務経験者)の採用試験を実施する自治体数が過去数年急増しています。現役の銀行マンも民間企業の社員も会社を辞めて公務員への転職を希望します。

公務員の「数字に縛られず、喰いっぱぐれが無くて、しかも高収入」の3点が魅力なんです。

ちなみに新潟県の場合、警察／教育／医療などの専門職を除いた

一般行政職:職員の直近(H30)年の【平均年収】は、平均年齢 43.8 歳で 662 万円でした。

一方、同じ年の国税庁の「民間給与実態調査(H30)」では、正社員の【平均年収】は平均年齢 46.4 歳で 504 万円です。(男性の平均が 560 万円で女性の平均は 386 万円)

「数字に縛られ、不況の影響を受けるうえに」公務員より年収が 160 万円も低くては、

民間企業の社員が気の毒じゃないですか。

しかし、民間企業の待遇はピンキリで「ピンはすごい！」んです。

H30 年、電子応用機器のキーエンスの平均年収は、平均年齢 35.9 歳でなんと 2,088 万円
三井・三菱・住友・伊藤忠など商社の一人当り平均年収は(42 歳で 1,400~1,500 万円)

給与の平均は年間 600~700 万円ですが、賞与が年間 700~800 万円。

賞与の方が多いです。

これらの高額な年収は、「成果配分」を採用している経営システムだからだと思います。

しかも、「成果配分」は出来高連動の変動費ですから、経営コストを固定化しません。

皆さんの会社の社員に【せめて公務員並みの年収 660 万円】を実現させてやりませんか。

社員にしたって「一回限りの人生」ですから、《物心両面で満足させてくれる職場》で人生を送りたいんです。

昔から《武士は勝つ側に味方する》と言いますから、

優秀な人材が集まって来ますよ。

社長や役員が働いて、社員の給料を支払っている会社がありますか？⇨なら、答えは簡単。

公務員に負けない年収は、「成果配分」を経営システムに組み込むと、+α 分は社員が自分たちの努力で実現します。

★★★★

例えば、こんな話を聞いたことはありませんか？

鄧小平の時代、中国の上海や南京の西にある安徽省鳳陽県の貧しい農村での話です。

食糧不足に思い余った農家が集まって、現状の打開策を相談しました。

農産物の収穫を増やさなければ飢え死にする。背に腹は代えられない。

党に内緒で、《どうにかして各農家が積極的に農作業に取り組む方法》を考えよう。

そこで編み出されたのが「各農家に全てを任せる」と言うものでした。

それまでの中国は、農民は公社の田畑で働き、収穫のほとんどを国家に納めます。

こうなると働いても働かなくとも、自分に直接関係ないので労働意欲が湧かない。

しかし、個々の農家が働かないと全体としては食糧不足に陥ることになる。

そこで、人民公社の田畑を各農家に割り当て、収穫した農産物は【前年と同量】を公社に渡せば、残りは自分たちのものになると言う「戸別の生産請負・責任制」を導入しました。

この方法を実った途端、この農村の生産量は激増して、あつと言う間に飢餓状態から脱出できました。

この農村での試みは、こっそり行われたんですが、あまりに鮮やかに成果を出したために中央の知るところとなって、これをモデルにして全国で農業改革が進められ、人民公社が解体されて、6年後の1984(S 59)年にはあの広大な国土の中国で、ほぼ100%の農家が「戸別の生産請負・責任制」に移行しました。

ご存知の様に、中国は「改革開放」で、その後ソ連は「ペレストロイカ」で、ベトナムは「ドイモイ」で奇跡的な経済成長を遂げました。

いずれも、「費用対効果」で、結果は「自己責任」の「経済の資本制」です。

ロシア大陸はもともと大穀倉地帯で、帝政ロシア時代には《穀物を国外へ輸出していたんです。》

⇒それがソビエト時代には《世界の穀物相場を上下させるほどの輸入大国》になりました。

⇒そして、今のロシアは《ソビエト時代の3倍以上の収

穫量》です。

つまり、成果に対する自分の取り分をハッキリさせると、設備はそのままでも生産性は倍増すると言う“世界的規模の実例”を私たちは目の当たりに見させて貰いました。

18 世紀後半、イギリスの経済学者アダム・スミスは彼の著書「国富論」で、富の源泉は労働にあるとし、人々が欲望のまま行動すると「見えざる手が国を繁栄に導く」と説きました。(たくさん欲しい人達は、たくさん働き・たくさん考えます。)

中国の「改革開放」を経済数値で見ると、鑑小平が権力を握った 40 年ほど前の 1978(S53)年当時、中国の GDP を現在の貨幣価値に換算したら《US\$》で、

① アメリカ → 4 兆 4 千億 US\$

② 日本 → 1 兆 5 千億 US\$ (アメリカの 1/3)

中国は、(只の)4 千 500 億 US\$(日本の 1/3 でアメリカの 1/10)でした。

鄧小平は、これまでの「社会主義:横並び路線」とは全く異なる「社会主義:市場経済」の《改革開放路線》を全業種に推し進め、国内に多くの経済特区を設置して先進国から資金と技術を引き込んで、40 年後の一昨年(2018 年)の名目 GDP 世界ランキング

① アメリカ → 20 兆 6 千億 US\$

(人口は)3 億 1 千 4 百万人・・・日本の 2.5 倍

② 中国 → 13 兆 4 千億 US\$ 13 億 6 千万人 $\pm\alpha$
(一人っ子政策時の無国籍人口)

③ 日本 → 5 兆 US\$ 1 億 2 千 6 百万人

中国は 2010 年に日本を追い抜いて GDP が世界第 2 位に、その後わずか 8 年で日本の 2.7 倍です。

13 億人を超える中華人民が、欲望のままに行動した結果で、

現在も、国際特許の出願件数は、

中国 > アメリカ + 日本 です。

圧倒的な人口の多さからして、近い将来中国は間違いなく GDP が世界一になるでしょう。

★★★

企業もアダム・スミスが「国富論」で説いたように「富の源泉は労働」にあります。

さしずめ、この「奇跡的な経済成長の仕組み」を事業経営に当てはめたら、総利益に対して例年同様の業績値比率の【必要利益と戦略費用の引当金】を、経費扱いで計上して、最後に残る「当期利益」を社員の「可処分利益」にするようなものです。

しかも、例年同様の業績を超えると総利益からの引き算は、一定比率の「必要利益と戦略費用の引当金」の他は若干の「流動経費」だけになりますから、稼ぎ出

す総利益の大部分が「社員への分配金」となって、中国安徽省の農村での話のように“収穫した農産物の「前年と同量」を公社に渡せば、残りは自分たちのものになる”と同じことになります。

視点を代え、社員へ分配する「可処分利益」は最後尾に位置しているので、社員への分配金(つまり社員の収入)が多いほど、企業の経営は安全であり、企業は「外堀の広い、堅固な城構え」と言うことになります。

一方社員も、業績は自分たちの収入に直接影響するので「理由が正当なら、業績不振も止むを得ない」なんて呑気なことを言っておられず「何とか、方法はないか」と「人は石垣、人は城」に変わります。

さらに、社長一人の知恵では限度がありますから、社員を社長の手足としてではなく、独立した頭脳と認識すれば、「経営の神様」と言われた松下幸之助の言葉のように、「衆智を集めて天下の遺利を取る」つまり“皆んなの知恵で、先に通過した人達が見落として行ったビジネスを手にする”ことができるかも知れません。

① 必要利益とは →

仮に毎年の利益を全部分配して、備蓄米がゼロの状態に飢饉が来たらどうします？「登山で道を間違った時には、元の場所へ引き返す体力」が必要です。

それと、「取引先に与える安心」も必要です。

銀行も 2 期連続赤字の会社には「貸し渋り」、3 期連続では「貸しはがし」です。

(つまり必要利益は、皆んなが安心して働くための保険の掛金と同じです。)

② 戦略費用とは →

開発費、社員教育費、先行投資などを経営コストに常設します。

ホンダも「カブ → ペンリー → N360 → シビック → レジェンド → (ホンダジェット)」です。

カブでの稼ぎを全部使っていたら、ペンリーは・・・ホンダジェットも作れませんでした。

(何時までも、世の中は止まったままでは居てくれません。)

と、私は考えています。

重ねて言います。

ロータリーでは、多くの経営者の《自分ない発想と情報》に出会えるはずで。

「働き一両、考え五両、知恵借り十両」です。

「商売は十人十色」と言いますから、いろんな人の考え方からヒントを頂いて、

【皆さんの会社の社員に、せめて公務員並みの年収 660 万円を実現させてやりましょう。】

— 完 (終わります。) —